

## 小林しげきの 衆議院議員としての実績

小林しげきは、2012年12月の衆議院議員選挙において、奈良1区より初当選し、国会に送っていただきました。それから今日まで、地元にもしっかりと目を配り、実績を積み重ねています。これからも、国民の、地域の皆さまのお声をしっかりと聞きながら、政治の責任を全力で果たしてまいります。

奈良市	生駒市
■ 公立小中学校全校へのエアコン設置予算の確保(令和元年夏までに完全設置完了)	
■ 老朽化に伴う緊急的な対応として 鶴舞小学校前の「鶴舞橋」の国による直轄診断の実施	■ 「生駒市ことばの教室」の 「先導的教育システム実証事業」採択
■ 国道24号線「京奈和自動車道大和北道路」の 新規事業化の決定	■ 「東京2020オリンピック聖火を活用した 地方創生事業」の聖火展示実施自治体への選定
■ 近鉄「大和西大寺駅」の再整備及び 区画整備事業予算の確保	■ 高山溜池の「農村地域防災減災事業」予算の確保
■ 平城中学校をはじめ市立中学校給食実施計画に 基づく給食室設置予算の確保	■ 谷田小明線の防災震災対策に係る 「社会資本整備総合交付金」の確保
■ 富雄川堆積土砂撤去工事 (河川維持修繕事業/緊急浚渫) 予算の確保	■ 北田原中学校線の観光振興と地域の魅力創造 に係る「社会資本整備総合交付金」の確保
	■ 国道163号線「清滝生駒道路」の「改築」予算の確保

刷新! 改革! さらに、前進!!

## 新しい自民党が はじまる!

自民党の岸田新総裁は就任後、「丁寧に寛容な政治を行い、国民の一体感をしっかり取り戻したい」と訴え、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、経済政策や外交・安全保障など、今後の取り組みについて抱負を語った。



小林しげきも、高市政調会長と手を携えて...

第100代首相に選出された岸田総裁は新内閣を発足させ、政権運営の基本方針として「自身が現場に足を運び、国民の皆様の声を聞き、政策に反映させていくこと、個性と多様性を尊重する社会を目指すこと、みんなで助け合う社会を目指すこと」を国民に約束。5つの政策に取り組むことを閣議決定した。

### 新政権が取り組む 5つの 政策

- ① 新型コロナウイルス対策
- ② 新しい資本主義の実現
- ③ 国民を守り抜く、外交・安全保障
- ④ 危機管理の徹底
- ⑤ 東日本大震災からの復興、国土強靱化

## 自民党 小林しげき

昭和39(1964)年、奈良市押熊町生まれ。奈良市立平城小学校、奈良市立登美ヶ丘中学校、清風高校、慶応義塾大学法学部卒業。株式会社大和銀行(現りそな銀行)に就職し、平成6(1994)年、三和住宅株式会社に入社。平成16(2004)年、代表取締役社長就任。平成19(2007)年、奈良県議会議員初当選。平成24(2012)年、衆議院議員に初当選。現在衆議員2期目、令和2(2020)年、国土交通大臣政務官就任

### 小林しげき事務所

【奈良事務所】〒631-0824 奈良市西大寺南町1-3 南町ビル3階  
TEL:0742-35-6700 / FAX:0742-35-8633  
【生駒事務所】〒630-0251 生駒市谷田町808 仲野ビル503  
TEL:0743-71-7891 / FAX:0743-71-7892  
info@shigekikobayashi.net



SNS発信中



国民の命を  
守り抜く。

みなさまの  
お声を  
お聞かせ  
ください!

KOBAYASHI SHIGEKI

# 小林しげき

## 活動Report

vol.171



地域の  
皆さまとともに、  
希望が持てる明日へ。

自民党

国民の命を守り抜く。





# 安全、安心な日常へ。

明日の「政治」を動かすのは、  
奈良市、生駒市の皆さまお一人おひとりです。

小林しげきは、皆さまの強い思い、切実な願いを力に変えて、「政治」の責任を、しっかりと果たし続けます。

Withコロナの時代を、不安なく、幸せに生きる。

## 「格差のない社会」を実現します!

- 1 政府が主導できる医療体制と人材の確保を通じて、**信頼、安心できる感染症対策**を実行します。
- 2 一律給付金や陰性証明、GoToの活用などにより、できるだけ早く**暮らしを復旧し、景気を拡大**させます。
- 3 経済格差の是正に向け、税制や社会保障体制を改革し、**企業活動や消費をけん引する中間層を拡大**させます。
- 4 学校の**教員人材の拡充、ICTツールの普及**に重点投資し、**教育格差を是正**します。
- 5 治療薬やワクチン、さらに、**食料、半導体など、重要物資を国内で安定供給できる経済安全保障体制**を構築します。

暮らしに寄り添う。本当に困っている人を支える。

## 「命を守る」政治の基本に立ち返ります!

- 1 コロナ感染者への**万全な治療、医療体制**の構築を急ぎます。
- 2 雇用を守り、**経済困窮者への直接支援**を継続します。
- 3 “こどもの命は未来”です。**「こども庁」を早期に創設**します。
- 4 自然災害の危険除去。**インフラ整備、国土強靱化**を強力に進めます。
- 5 日本の領土、国民の生命、**財産を守る体制強化、法整備**を急ぎます。

## 奈良市、生駒市を豊かに! 快適で、災害に強い街へ!

文化と歴史が薫る地域の特徴を、豊かさ、暮らしやすさにつなげる。遅れていた奈良と生駒のインフラ整備を、さらに力強く前に進めます。小林しげきには、この4年間の確かな実績があります。

地方自治体が計画に基づき国に要望した予算を、どれだけ認められたかを表す「社会資本整備総合交付金」内示率。4年前との比較で、大きく跳ね上がっています。

【社会資本整備総合交付金内示状況】

		内示率		県内12市中	
		令和2年度	平成29年度	順位	順位
奈良市	令和2年度	79.6%	29.9%	6位	最下位
	平成29年度				
生駒市	令和2年度	89.4%	68.6%	1位	2位
	平成29年度				

野党 共通政策に  
**NO!**

「安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法など違憲部分の廃止」は**危険!**

緊迫する国際情勢。自国を守るのは自国民です。野党がことさら不安をあり、反対理由として掲げるような事態は何も起こっていないのが現実です。

「石炭火力から脱却。原発のない脱炭素社会を追求」の即実行は**非現実的!**

絵に描いた理想だけでは、進むべき国の方向を誤ります。持続的な電力安定供給が大前提。原子力発電の安全性の確保、活用が現実的選択です。

「日本学術会議人事で任命拒否された6名の任命」は**不見識!**

「学問の自由」とは論点が異なります。国民の税金で運営される組織を、国民の負託を受けた政権が評価するのは当然。独善は許されません。

米国との協議、代案のない「辺野古新基地建設中止」は**無責任!**

唐突な「中止」は日米同盟の停滞、危機を招くだけの**無責任な判断**。かつて鳩山民主党政権は逃走の末、「抑止力」の重要性を理解したはず。

